# 支部会報創刊

## みずなら

## 楽しい紙面を期待

日本将棋連盟札幌中央支部の会報が創刊された　本号がその記念すべき創刊号。

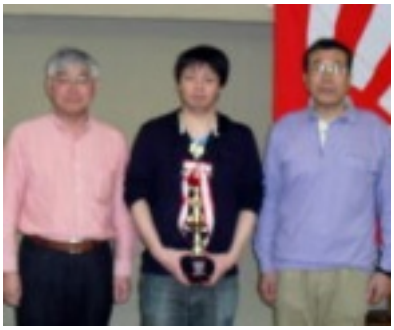
支部の機関誌を期待する声が聞かれていたが、ようやくスタートを切った。

紙面は、同支部の活動や将棋情報を軸に構成するが、題材は限定せず広くさまざまな話題も提供し、支部会員以外の読者からも支持を得たい。

手作りの情報誌としての“フリーハンド”のメリットを生かした紙面作りを目指す。

支部会員の近況・他団体の活動の様子など、情報をお寄せ頂くと嬉しい。同支部は「将棋サロン&カフェみずなら」に事務局を置いているので、同店に情報を御寄せ願いたい。

日本将棋連盟札幌中央支部（札幌市中央区北３西２NCビル２Fみずなら℡011-788-9215 FAX011-788-9215）



みずならＳチーム職団戦優勝

## 全道庁支部チーム快勝

四月二三日夕刻、日本将棋連盟全道庁支部の選抜チームが、札幌中央支部の選抜チームと将棋サロンみずならにおいて団体対抗戦を行い４―２で勝ち、先輩支部の貫録を示した。

札幌中央支部は、他支部と親睦を深めるべく、交流戦を行っている。この日は平日の夕刻ということもあり有志のみの参加となったが、全道庁支部が選手層の厚さを証明した。

対抗戦の後は酒食を囲んで親交を深め、その後さらに将棋や囲碁の自由対局も。

みずならの棋友の飛び入り参加も迎え、夜の深まるのも忘れ楽しいひと時を共有した。

## みずならＳ団体優勝

４月29日に北海道将棋会館で３名一組で戦う朝日職団戦が行われた。

実力に応じたクラスごとに争われ、最強チーム同士の激戦となるS級で、「みずならＳ」チームが、４戦全勝で優勝した。

強敵ばかりの大将戦で勝ち星４をあげた桜庭篤さん（写真中央）は「ずいぶん苦しい将棋もありましたが、勝ちに恵まれました。」と謙虚に語っていた。

## 高野明富元名人の思い出の一局

**特別寄稿**

昭和46年にアマ名人を獲得して以来、大山名人、中原名人、森けい二八段の名人、A級と通算４局の角落戦を指している。結果は４連勝。出来過ぎである。　当時はアマ名人クラスでも角落戦でA級八段になかなか勝てない時代であった。

今回はその４局のうちの２局目、中原名人戦をご紹介する。

対局は昭和49年の正月に行われた。場所は札幌東急デパートの新春将棋まつり。今もその時の状況が鮮明に思い出される。

相手は中原名人、不足のあろうはずがない。角落戦である。大観衆、短時間の将棋、相当プレッシャーを感じていた。

（文・高野明富　六段・昭和46年全日本アマ名人＝会報創刊記念特別寄稿）

【二面に自戦解説】

生地・洋裁手芸・クラフトの専門店
いつもいっしょ　これからも一緒
80th
感謝の気持ちで80周年
カナリヤ
http://www.kanariya.co.jp

【思い出の一局】会報創刊記念特別寄稿

## ◆自戦記◆高野明富

昭和49年1月5日
於：札幌東急デパート
▲下手：高野明富六段
△上手：中原誠名人（角落）

解説者役としてアマ応援団として北海道将棋連盟会長の佐々木治夫氏が、プロ側応援団としてアマに対して厳しい毒舌家として知られる医事評論家の石垣純二氏である。

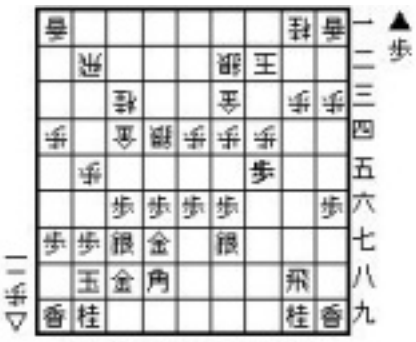
負けたら石垣純二氏にアマは弱い、だから二枚落にすべきだとコテンパンに言われるのは目に見えている。

石垣氏はアマは二枚落にすべきだとの持論を持っていた。その言葉を聞くのが嫌だったので頑張った。

角落戦の下手の作戦は矢倉か振飛車である。居飛車党の私は得意戦法の矢倉を選んだ。

**第１図**は中原名人の△６四銀に対して、▲３五歩と仕掛けた局面。角落戦としてはまずまずの局面。以下、△８六歩、▲同銀、△６五歩、▲２二歩、△同玉、▲４五歩、△６六歩、▲同金、△６五銀で**第２図**。

（第１図▲３五歩まで）



【第56手▲３五歩まで】

（第２図△６五銀まで）

途中、△６五歩に対して手抜きして▲２二歩から▲４五歩と指し、上手の玉を不安定にするのが勝負の呼吸。若し、▲６五同歩と指すと、すかさず、上手に▲６六歩とされ、速度が一手速くなる。

**第２図**の局面でうっかり▲６五同金と取ろうものなら△６五同桂とされ、△５七金を狙われ局面が一気に紛れてしまう。

ここで私は▲６七歩と打ったが受けの好手と思う。本局を勝ちに導いた手で特に印象深い。

以下、筋に入った攻めで、中原名人といえども変化のしようがない。

以下、指し手のみを記す。

▲６七歩以下、△４五歩、▲３四歩、△同金、▲３六銀、△６六銀、▲同歩、△６七歩、▲同金、△６五歩、▲３五銀、△３三歩、▲４三歩、△同銀、▲４四歩、△同銀、▲同銀、△同金、▲２四歩（**第３図**）

（第３図▲２四歩まで）

**第３図**以下、△３二玉、▲６三銀、△６六歩、▲同金、△６五歩、▲２三歩成、△４三玉、▲３二銀、△５三玉、▲７四銀成、△６六歩、▲６四歩まで96手で下手勝。以上【投了図】

【第96手▲６四歩まで】

## みずならリーグ（三月結果）

優勝阿部孝行・準優勝佐藤丈瑠・３位川崎陽平

## バックギャモン

四月二四日、みずならにバックギャモンの愛好家が集まった。

バックギャモンは羽生名人ら棋士の間でも人気が高い。古くから世界中で楽しまれてきた奥の深いゲームだ。みずならでは色々なゲームが楽しまれている。

## ▲編集後記▲

ようやく創刊にこぎつけた。きっと、これからが、もっとたいへんなのであろう。

創刊号は4月23日付とした。実は、この日は編集者（山下弘人）の誕生日。公私混同だ。ご失笑を願う。

～みずなら～
将棋・囲碁・チェス・バックギャモン・オセロ・どうぶつ将棋
◆席料案内◆
平日800円・土日祝1000円
＝中学生以下は半額＝
（女性・学生・シルバー割引）
回数券・月極め料金有り